



「わたしの主張」北岩手地区大会  
 えいた  
**千葉瑛太さん** (小屋瀬中3年) が  
**最優秀賞に輝く**



「僕が守りたいもの」  
 えいた  
 千葉瑛太 小屋瀬中学校3年

みなさんは酪農にどんなイメージを持っていますか。確かにきつい、汚い、危険はその通りです。それでも作業の一つ一つにやりがいがあります。僕はパートさんが休みの週2回は1時間以上かけ牛床、牛のベットの掃除に入ってい

ます。しかし苦ではありません。知っていましたか？掃除に行くときや猫のようにつついてくる牛がいます。それがとてもかわいいのです。牛は優しい生き物なのです。そのうえおいしい牛乳を作り、私たちの食生活を支えています。

父は3年前搾乳ロボットを導入しました。それにより約120頭の24時間自動搾乳が可能になりました。このように近年の酪農は、社会のIT化と同様に進化しています。ただ、搾乳ロボットが合わない牛もいます。一頭一頭の個性を大切にすることは忘れたくありません。僕は父の跡を継ぎ、さらに新しいロボットや機械を導入し、人にも牛にも優しいスタイルで酪農を守っていきたくです。

8月25日、西根中学校で令和5年度「わたしの主張」北岩手地区大会(同実行委員会主催)が開催され、千葉瑛太さんが出場者10人の中から最優秀賞に選ばれました。

**優秀賞「一人の人間として自分らしく」**  
 まおり  
**大川原舞桜利** 江刈中学校3年

「女なんだからこうしなきゃ」とは言わない。誰かと比較しない。どんな個性だろうと皆おなじ人間。自分らしくいて、いいのだと。違って当たり前。その方がずっと人間らしい。



**「涙を流した理由」**  
 しんのすけ  
**坂本辰之輔** 葛巻中学校3年

(体育祭で) みんなで全力の応援ができ、感謝の気持ちがこみ上げ涙が流れました。辛いことを乗り越えたからこそ、達成感や感謝、たくさんの感情が生まれると思います。



姉妹町村の縁となった上原清善氏の石碑の前で記念撮影

沖縄県北中城村訪問研修

# 中学生が深める姉妹町村の絆

8月7日から10日まで、沖縄県北中城村訪問研修が行われ、中学生14人と引率者4人が参加しました。

8日は北中城中学校生徒会主催の交流会が開催され、伝統舞踊のエイサーで本町の中学生らを歓迎しました。今年1月には北中城中学校の生徒が本町を訪問しており、生徒たちは再会を喜びながらパーベキューなどで親睦を深めました。

9日には世界遺産の中城城跡や平和祈念公園を見学し、沖縄県の歴史や文化などに触れ、岩手県との違いを感じた様子でした。また、糸満市のビーチを満喫し、両町村の生徒たちは幼い頃からの友だちのように打ち解けていました。

訪問団のリーダー工藤大翔さん(小屋瀬中3年)は「北中城村の歴史や自然について楽しく学ぶことができ、思い出に残る研修会だった」と感想を述べました。また、遠藤祐利さん(葛巻中3年)は「前回会った友だちとまた交流できて良かった」、高宮野々花さん(江刈中3年)は「初めて会う仲間とも交友関係を広げられた」と話し、姉妹町村の絆を深めた様子でした。



世界遺産の中城城跡を見学



ビーチでレクリエーション



名刺交換をしながら自己紹介

生涯学習  
 フェスティバル

みんなの夢が広がる **まなびの森** を創造しよう

■期間

10月14日(土)~22日(日) 9時~19時

■場所

複合庁舎くずま〜る ほか

■期間中の常設展示・企画

①町民の作品展示

文化協会所属団体、生涯学習サークル、公民館教室、個人の作品などを展示します

②公民館図書古本市

古い本や雑誌を販売します

■教室・見学会

①くぼたまさとさんのわくわく工作教室

▶期日 10月22日(日) 13時~14時  
 ▶内容 「つくってあそぼ」の「わくわくさん」ことくぼたまさとさんの工作教室です

けん玉とタケトンボ  
 をつくろう!



②文化財見学会

▶期日 10月15日(日) 9時30分  
 ▶内容 江刈、平庭などの鉄山に関する史跡を見学します

☎まなび交流課 ☎65-8990

